

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度南佐渡クリーンセンター公害防止協議会
開催日時	令和2年2月27日(木) 午後3時開会 午後4時30分閉会
場所	小木行政サービスセンター 2階 第2学習室
議題	(1) 平成30年度ごみの搬入状況及び令和元年度水質検査結果について (2) 南佐渡一般廃棄物最終処分場等に係る廃棄物処理施設整備構想(案)について (3) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	参加者 施設周辺に居住する市民、有識者 6名 事務局 環境対策課 課長 計良朋尚 環境対策課 課長補佐 谷地喜文 環境対策課 施設管理係長 中川祐亮 南佐渡一般廃棄物最終処分場 技能士 森山 悟
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
計良課長	開会のあいさつ
座長	（１）平成 30 年度ごみの搬入状況及び令和元年度水質検査結果について、説明をお願いします。
森山技能士	<p>ア 平成 30 年度ごみ搬入実績について</p> <p>イ 平成 30 年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の埋立実績について</p> <p>ウ 令和元年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の水質検査結果について</p> <p>エ 令和元年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の放射性物質濃度等の測定結果について</p> <p>オ 令和元年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の修繕について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の 2 から 10 ページにより説明する。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑がございましたら、お願いします。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡クリーンセンターとメルティングセンターの残渣等が約 1,000 m³搬入されているが、この先もずっと搬入される廃棄物と考えるのか。
森山技能士	<ul style="list-style-type: none"> ・残渣等に関しては、800 から 900 m³の搬入があると思います。そこに側溝汚泥の 160 m³の搬入が加わりますと、災害ごみ等が無くても 1,000 から 1,100 m³の搬入量が毎年あると考えます。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・浸出水処理施設の放流水を小比叡川に放流しているかと思うが、雨量が多かったりすると上流から枯木等が流れて来て下流で溜まる事があるが、清掃関係は誰がやるのか。
谷地課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理者の佐渡市になるかと思いますが、支所・サービスセンターの方に問い合わせてみて下さい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・小比叡川では、農家が夏場になると農業用水用にポンプで水を汲み上げ、畑等に使用したりしている。放流水の水質に問題はないかと思うが、適切な運営をこれからもしていただきたい。
森山技能士	<ul style="list-style-type: none"> ・浸出水の放流水は、農家の皆さんが水を汲み上げている場所よりも下流に放流しているので農業用水に関しては問題ありませんが

<p>座長 座長</p>	<p>今後も適切な運営を心掛けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以上で（１）の市の報告は承認されたものとする。 （２）南佐渡一般廃棄物最終処分場等に係る廃棄物処理施設整備構想（案）について、説明をお願いします。
<p>谷地課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理施設整備構想（案）について、会議資料の 11 ページから 13 ページより説明する。
<p>座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑がございましたら、お願いします。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南佐渡クリーンセンターへの直接ごみ搬入は令和 4 年度で受入を終了して、収集は今までどおりと言う事だが、今まで直接搬入していた人達はどうすればいいのか。
<p>谷地課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集ごみに関しましては、従来通りに収集を行います。直接搬入ごみに関しましては、佐渡クリーンセンターの方へ直接搬入していただくか、各地域の一般廃棄物の収集をしている業者を通じて搬入いただく事になるかと思います。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業系のごみは、佐渡クリーンセンターに直接持って行かなくてはならないのか。
<p>計良課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業系の一般廃棄物についても、一般の集積場の方へ指定ごみ袋に入れて出していただく事になります。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不燃ごみ、リサイクルごみなども同じ扱いでいいか。
<p>計良課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来通りでお願いします。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メルティングセンターを停止し解体とかになった場合、残土等の廃棄物が南佐渡一般廃棄物最終処分場に運ばれて来るのか。
<p>谷地補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解体に係る廃棄物は産業廃棄物となりますので、搬入されません。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入物が増えて埋立期間が短くなる心配もありますか。
<p>計良課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南佐渡一般廃棄物最終処分場は可能な限り延命化する考えでいます。佐渡市の廃棄物施設も 20 年を超えた施設ばかりで、修繕費だ

座長

けでも毎年かなりの金額が掛っています。加えて、両津大川のメルティングセンターは、焼却灰を1,500度の高温で熔融することにより2,000tの焼却灰が1,000tのスラグに減容できる理想的な施設として稼働しました。そのスラグを建設資材として使っていく方針でしたが、なかなか需要が広らず、稼働後の成果も減容率が15%しかできていない現状なので、20年経った現在見直しをかけ、加えて佐渡クリーンセンターの方も20年を経過し、本来なら建替えを考えなくてはならない状況なのですが、莫大な経費が掛かることから、先程の廃棄物処理施設整備構想（案）で説明したように10年以上の長寿命化計画を立て、いかに経費を削減し、運営していくか考えています。

- ・以上で（2）議題南佐渡一般廃棄物最終処分場等に係る廃棄物処理施設整備構想の報告は承認されたものとする。
- ・（3）その他は特になし。
- ・閉会のあいさつ